

2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 京セラ株式会社

コード番号 6971 URL <https://www.kyocera.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 谷本 秀夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 千田 浩章 TEL 075-604-3500

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	491,954	16.9	41,428	28.0	68,711	26.1	49,974	22.6	196,476	254.5
2022年3月期第1四半期	420,712	32.7	32,376	327.5	54,476	79.1	40,760	82.1	55,417	53.5

	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益	希薄化後1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	139.24	—
2022年3月期第1四半期	112.46	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社の所有者に帰属する持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,113,028	3,061,247	3,034,024	73.8
2022年3月期	3,917,265	2,898,273	2,871,554	73.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	200.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期の配当については、年間200円を予想しています。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000,000	8.8	174,000	16.8	220,000	10.6	154,000	3.8	429.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益」は、2023年3月期第1四半期の期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有

(注) 【添付資料】13ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	377,618,580株	2022年3月期	377,618,580株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	18,718,084株	2022年3月期	18,717,679株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	358,900,726株	2022年3月期1Q	362,440,135株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 将来の見通しに関する記述等について

当決算短信に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は当決算短信に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

2. 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

3. 決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、同日当社ホームページに掲載しています。

【添付資料】

○ 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(要約四半期連結損益計算書)	10
(要約四半期連結包括利益計算書)	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計上の見積りの変更)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績>

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）は、新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念や不安定な世界情勢を背景に、サプライチェーンの混乱や原材料等の価格の高騰が続きました。また、米国の利上げも影響し、為替は急激な円安で推移しました。一方、当社の主要市場である5G及び半導体関連市場では、引き続き高水準な需要及び設備投資が見られました。

当社においては、旺盛な部品需要に対する増産投資が寄与したことに加え、機械工具事業における販売増加もあり、売上高は前第1四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）に比べ71,242百万円（16.9%）増加の491,954百万円となり、四半期の売上高として過去最高を更新しました。

利益については、増収及び円安の効果、並びに各部門で生産性改善に努めた結果、前第1四半期連結累計期間に比べ増加しました。営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ9,052百万円（28.0%）増加の41,428百万円、税引前利益は同14,235百万円（26.1%）増加の68,711百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同9,214百万円（22.6%）増加の49,974百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルは前第1四半期連結累計期間に比べ21円（19.3%）円安の130円、対ユーロは6円（4.5%）円安の138円となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の邦貨換算後の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ約440億円、税引前利益は約115億円押し上げられました。

【連結業績】

(百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
売上高	420,712	100.0	491,954	100.0	71,242	16.9
営業利益	32,376	7.7	41,428	8.4	9,052	28.0
税引前利益	54,476	12.9	68,711	14.0	14,235	26.1
親会社の所有者に帰属する四半期利益	40,760	9.7	49,974	10.2	9,214	22.6
米ドル平均為替レート (円)	109	—	130	—	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	132	—	138	—	—	—
設備投資額	34,199	8.1	44,367	9.0	10,168	29.7
有形固定資産 減価償却費	20,510	4.9	25,310	5.1	4,800	23.4
研究開発費	20,106	4.8	22,425	4.6	2,319	11.5

<連結事業セグメント別の業績>

① コアコンポーネント

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間の118,980百万円と比較し、22,541百万円(18.9%)増加の141,521百万円となりました。事業利益は、前第1四半期連結累計期間の11,006百万円と比較し、9,748百万円(88.6%)増加の20,754百万円となり、利益率は9.3%から14.7%へと向上しました。

売上高は、5G等の情報通信市場向けセラミックパッケージ及び有機基板や、半導体製造装置用ファインセラミック部品等の高付加価値製品の需要の伸びを主因に、増加しました。事業利益は、増収に加え、半導体関連部品事業における採算改善及び円安の効果も寄与し、大幅に増加しました。

② 電子部品

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間の76,779百万円と比較し、18,622百万円(24.3%)増加の95,401百万円となりました。事業利益は、前第1四半期連結累計期間の11,456百万円と比較し、4,551百万円(39.7%)増加の16,007百万円となり、利益率は14.9%から16.8%へと向上しました。

産業機器市場並びに5G及び半導体関連市場を中心に、コンデンサ等の部品の売上が増加したことに加え、円安の効果もあり、増収増益となりました。

③ ソリューション

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間の228,019百万円と比較し、29,984百万円(13.1%)増加の258,003百万円となりました。一方、事業利益は、前第1四半期連結累計期間の15,324百万円と比較し、603百万円(3.9%)減少の14,721百万円となり、利益率は6.7%から5.7%へと低下しました。

売上高は、機械工具事業及びドキュメントソリューション事業において、主要製品の販売増加及び円安の効果もあり、増加しました。事業利益は、コミュニケーション事業における国内向け携帯電話端末の販売台数の減少を主因に、減少しました。

【事業セグメント別売上高】

(百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	118,980	28.3	141,521	28.8	22,541	18.9
産業・車載用部品	40,590	9.7	46,938	9.5	6,348	15.6
半導体関連部品	72,068	17.1	87,909	17.9	15,841	22.0
その他	6,322	1.5	6,674	1.4	352	5.6
電子部品	76,779	18.3	95,401	19.4	18,622	24.3
ソリューション	228,019	54.2	258,003	52.4	29,984	13.1
機械工具	61,882	14.7	81,897	16.6	20,015	32.3
ドキュメントソリューション	86,036	20.5	101,177	20.6	15,141	17.6
コミュニケーション	55,257	13.1	47,501	9.6	△7,756	△14.0
その他	24,844	5.9	27,428	5.6	2,584	10.4
その他の事業	3,637	0.8	5,884	1.2	2,247	61.8
調整及び消去	△6,703	△1.6	△8,855	△1.8	△2,152	—
売上高	420,712	100.0	491,954	100.0	71,242	16.9

【事業セグメント別利益（△損失）】

(百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	11,006	9.3	20,754	14.7	9,748	88.6
産業・車載用部品	4,229	10.4	4,502	9.6	273	6.5
半導体関連部品	7,351	10.2	17,074	19.4	9,723	132.3
その他	△574	—	△822	—	△248	—
電子部品	11,456	14.9	16,007	16.8	4,551	39.7
ソリューション	15,324	6.7	14,721	5.7	△603	△3.9
機械工具	7,833	12.7	8,812	10.8	979	12.5
ドキュメントソリューション	6,637	7.7	6,870	6.8	233	3.5
コミュニケーション	2,100	3.8	△746	—	△2,846	—
その他	△1,246	—	△215	—	1,031	—
その他の事業	△3,473	—	△6,159	—	△2,686	—
事業利益計	34,313	8.2	45,323	9.2	11,010	32.1
本社部門損益等	20,163	—	23,388	—	3,225	16.0
税引前利益	54,476	12.9	68,711	14.0	14,235	26.1

(注) 前第4四半期連結会計期間より、各事業セグメントで生じた一部の副産物売上高については、金額的重要性が増したため、計上先を「その他の事業」から各事業セグメントに変更し、前連結会計年度より適用しています。
この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間の経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

(2) 財政状態に関する説明

<連結キャッシュ・フローの状況>

現金及び現金同等物の当四半期末残高は、当期首残高の414,129百万円に比べ29,745百万円減少し、384,384百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・インは、前第1四半期連結累計期間の69,131百万円に比べ39,909百万円減少し、29,222百万円となりました。これは主に受注増加による増産に伴うキャッシュ・アウトの増加に加え、京セラドキュメントソリューションズ㈱の連結子会社TA Triumph-Adler GmbHの退職給付に係る負債を現金等で第三者に引き渡したことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・アウトは、前第1四半期連結累計期間の27,131百万円に比べ10,054百万円増加し、37,185百万円となりました。これは主に設備投資が増加したことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・アウトは、前第1四半期連結累計期間の35,342百万円に比べ5,057百万円増加し、40,399百万円となりました。これは主に配当金の支払額が増加したことによるものです。

【連結キャッシュ・フロー】

(百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,131	29,222	△39,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,131	△37,185	△10,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,342	△40,399	△5,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△987	18,617	19,604
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,671	△29,745	△35,416
現金及び現金同等物の期首残高	386,727	414,129	27,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	392,398	384,384	△8,014

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の通期連結業績予想は、本年4月の公表数値から変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の業績は、通期連結業績予想に対して概ね期初の想定範囲内で推移しました。当第2四半期連結会計期間（2022年7月1日から2022年9月30日まで）以降は、原材料価格の高騰に伴う影響等、依然として先行き不透明感が残るものの、5Gや半導体関連市場向け部品の需要を捉え、通期連結業績予想の達成を図ります。

これらの将来予測情報については、サマリー情報「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 1. 将来の見通しに関する記述等について」をご参照ください。

【通期連結業績予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
売上高	1,838,938	100.0	2,000,000	100.0	161,062	8.8
営業利益	148,910	8.1	174,000	8.7	25,090	16.8
税引前利益	198,947	10.8	220,000	11.0	21,053	10.6
親会社の所有者に帰属する当期利益	148,414	8.1	154,000	7.7	5,586	3.8
米ドル平均為替レート (円)	112	—	115	—	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	131	—	125	—	—	—
設備投資額	151,771	8.3	200,000	10.0	48,229	31.8
有形固定資産 減価償却費	90,229	4.9	120,000	6.0	29,771	33.0
研究開発費	84,123	4.6	95,000	4.8	10,877	12.9

【事業セグメント別売上高予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	527,933	28.7	582,000	29.1	54,067	10.2
産業・車載用部品	172,908	9.4	201,000	10.1	28,092	16.2
半導体関連部品	327,746	17.8	351,000	17.6	23,254	7.1
その他	27,279	1.5	30,000	1.4	2,721	10.0
電子部品	339,102	18.4	370,000	18.5	30,898	9.1
ソリューション	983,689	53.5	1,061,000	53.1	77,311	7.9
機械工具	251,062	13.7	265,000	13.3	13,938	5.6
ドキュメントソリューション	366,691	19.9	400,000	20.0	33,309	9.1
コミュニケーション	262,306	14.3	271,000	13.6	8,694	3.3
その他	103,630	5.6	125,000	6.2	21,370	20.6
その他の事業	17,817	1.0	24,000	1.2	6,183	34.7
調整及び消去	△29,603	△1.6	△37,000	△1.9	△7,397	—
売上高	1,838,938	100.0	2,000,000	100.0	161,062	8.8

【事業セグメント別利益（△損失）予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	61,640	11.7	82,000	14.1	20,360	33.0
産業・車載用部品	19,872	11.5	29,000	14.4	9,128	45.9
半導体関連部品	44,239	13.5	54,000	15.4	9,761	22.1
その他	△2,471	—	△1,000	—	1,471	—
電子部品	47,896	14.1	55,500	15.0	7,604	15.9
ソリューション	68,730	7.0	87,000	8.2	18,270	26.6
機械工具	27,211	10.8	31,000	11.7	3,789	13.9
ドキュメントソリューション	33,334	9.1	42,000	10.5	8,666	26.0
コミュニケーション	15,288	5.8	11,000	4.1	△4,288	△28.0
その他	△7,103	—	3,000	2.4	10,103	—
その他の事業	△14,649	—	△24,500	—	△9,851	—
事業利益計	163,617	8.9	200,000	10.0	36,383	22.2
本社部門損益等	35,330	—	20,000	—	△15,330	△43.4
税引前利益	198,947	10.8	220,000	11.0	21,053	10.6

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間 (2022年6月30日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
資産の部					
流動資産					
現金及び現金同等物	414,129		384,384		△29,745
短期投資	25,460		20,642		△4,818
営業債権及びその他の債権	379,066		368,695		△10,371
その他の金融資産	18,623		18,411		△212
棚卸資産	452,506		527,207		74,701
その他の流動資産	39,339		44,973		5,634
流動資産合計	1,329,123	33.9	1,364,312	33.2	35,189
非流動資産					
資本性証券及び負債性証券	1,469,133		1,566,205		97,072
持分法で会計処理されている投資	15,795		15,587		△208
その他の金融資産	41,540		42,451		911
有形固定資産	512,175		557,094		44,919
使用権資産	40,703		46,010		5,307
のれん	262,985		270,958		7,973
無形資産	149,879		158,039		8,160
繰延税金資産	36,483		38,144		1,661
その他の非流動資産	59,449		54,228		△5,221
非流動資産合計	2,588,142	66.1	2,748,716	66.8	160,574
資産合計	3,917,265	100.0	4,113,028	100.0	195,763

	前連結会計年度 (2022年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間 (2022年6月30日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
負債及び資本の部					
負債の部					
流動負債					
借入金	79,382		79,045		△337
営業債務及びその他の債務	222,962		228,232		5,270
リース負債	17,326		18,493		1,167
その他の金融負債	16,552		18,799		2,247
未払法人所得税等	20,390		19,211		△1,179
未払費用	134,282		123,893		△10,389
引当金	7,010		9,340		2,330
その他の流動負債	41,445		54,826		13,381
流動負債合計	539,349	13.8	551,839	13.4	12,490
非流動負債					
借入金	17,163		17,300		137
リース負債	35,390		39,585		4,195
退職給付に係る負債	23,129		9,347		△13,782
繰延税金負債	384,513		413,189		28,676
引当金	9,631		10,667		1,036
その他の非流動負債	9,817		9,854		37
非流動負債合計	479,643	12.2	499,942	12.2	20,299
負債合計	1,018,992	26.0	1,051,781	25.6	32,789
資本の部					
資本金	115,703		115,703		—
資本剰余金	122,751		122,490		△261
利益剰余金	1,846,102		1,863,330		17,228
その他の資本の構成要素	880,297		1,025,803		145,506
自己株式	△93,299		△93,302		△3
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,871,554	73.3	3,034,024	73.8	162,470
非支配持分	26,719	0.7	27,223	0.6	504
資本合計	2,898,273	74.0	3,061,247	74.4	162,974
負債及び資本合計	3,917,265	100.0	4,113,028	100.0	195,763

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)		増 減	
	金 額	比率	金 額	比率	増減金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	420,712	100.0	491,954	100.0	71,242	16.9
売上原価	301,502	71.7	349,218	71.0	47,716	15.8
売上総利益	119,210	28.3	142,736	29.0	23,526	19.7
販売費及び一般管理費	86,834	20.6	101,308	20.6	14,474	16.7
営業利益	32,376	7.7	41,428	8.4	9,052	28.0
金融収益	22,058	5.2	24,676	5.0	2,618	11.9
金融費用	663	0.2	847	0.2	184	27.8
為替換算差損益	264	0.1	2,732	0.6	2,468	934.8
持分法による投資損益	4	0.0	329	0.1	325	—
その他—純額	437	0.1	393	0.1	△44	△10.1
税引前利益	54,476	12.9	68,711	14.0	14,235	26.1
法人所得税費用	13,031	3.0	17,959	3.7	4,928	37.8
四半期利益	41,445	9.9	50,752	10.3	9,307	22.5

四半期利益の帰属：						
親会社の所有者	40,760	9.7	49,974	10.2	9,214	22.6
非支配持分	685	0.2	778	0.1	93	13.6
四半期利益	41,445	9.9	50,752	10.3	9,307	22.5

1株当たり情報						
親会社の所有者に帰属する 四半期利益：						
— 基本的及び希薄化後 (円)	112.46		139.24			

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)	増減金額
	金額	金額	
四半期利益	百万円 41,445	百万円 50,752	百万円 9,307
その他の包括利益—税効果控除後			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	10,977	67,540	56,563
確定給付制度の再測定	—	△65	△65
純損益に振り替えられることのない項目合計	10,977	67,475	56,498
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	23	△43	△66
在外営業活動体の換算差額	3,035	78,421	75,386
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△63	△129	△66
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,995	78,249	75,254
その他の包括利益計	13,972	145,724	131,752
四半期包括利益	55,417	196,476	141,059
四半期包括利益の帰属：			
親会社の所有者	54,690	195,049	140,359
非支配持分	727	1,427	700
四半期包括利益	55,417	196,476	141,059

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2021年4月1日残高	115,703	122,745	1,750,259	671,951	△69,243	2,591,415	24,695	2,616,110
四半期利益			40,760			40,760	685	41,445
その他の包括利益				13,930		13,930	42	13,972
四半期包括利益計	—	—	40,760	13,930	—	54,690	727	55,417
配当金			△28,995			△28,995	△772	△29,767
自己株式の取得					△3	△3		△3
非支配持分との取引							—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			3	△3		—		—
その他		△8				△8		△8
2021年6月30日残高	115,703	122,737	1,762,027	685,878	△69,246	2,617,099	24,650	2,641,749

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2022年4月1日残高	115,703	122,751	1,846,102	880,297	△93,299	2,871,554	26,719	2,898,273
四半期利益			49,974			49,974	778	50,752
その他の包括利益				145,075		145,075	649	145,724
四半期包括利益計	—	—	49,974	145,075	—	195,049	1,427	196,476
配当金			△32,301			△32,301	△871	△33,172
自己株式の取得					△3	△3		△3
非支配持分との取引		△261				△261	△52	△313
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			△431	431		—		—
その他			△14			△14		△14
2022年6月30日残高	115,703	122,490	1,863,330	1,025,803	△93,302	3,034,024	27,223	3,061,247

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社は当第1四半期連結累計期間より、一部のソフトウェアの耐用年数を2年から5年に変更し、将来にわたり適用しています。この変更は、直近のソフトウェアの利用実績を勘案し、より実態に即した耐用年数への見直しによるものです。

この結果、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益及び税引前利益は543百万円増加しました。